

平成25年行政事業レビューシート

(文部科学省)

事業名	現代文化分野における専門人材のASEAN派遣事業	担当部局庁	文化庁	作成責任者			
事業開始・終了(予定)年度	平成26年度～終了年度未定	担当課室	長官官房国際課	国際課長 佐藤 透			
会計区分	一般会計	政策・施策名	XII 文化による心豊かな社会の実現 XII-3 日本文化の発信及び国際文化交流の推進				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	文化芸術振興基本法 第15条	関係する計画、通知等	文化芸術の振興に関する基本的な方針(第3次基本方針) (平成23年2月8日閣議決定)				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	今後成長が見込まれるASEAN諸国等においては、ASEAN+3文化芸術大臣会合等を通じて、日本が強みを有するポップカルチャー分野について、日本の専門人材から直接指導を受けることによって、自国の人材を育成したいという要望が強い。一方、政府のクールジャパン推進会議においても、海外展開を進めるうえで、ポップカルチャー分野は牽引役として重要であり、将来の日本文化の需要者を育てるためにも、ASEAN諸国等の学校等を通じた人材育成を行うことが必要とされている。このため、日本から専門人材を派遣し、現地において直接講義等を行うことで、日本文化の存在感を高めるほか、人的ネットワークを形成していくことにより、日本文化の継続的な発信強化を促進する。						
事業概要 (5行程度以内。別添可)	ASEAN諸国への波及効果が高いシンガポールの政府系機関や教育機関に、日本が世界のなかで優位性のある、漫画、アニメ、ゲーム、音楽等の現代文化分野における制作者や教育者等の専門人材を教育機関等に派遣し、将来の文化交流の推進者となる若者に対して、集中講義、講座を行う。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算 の 状 況	当初予算	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求
		補正予算					50
		繰越し等					
		計					50
	執行額						
	執行率 (%)						
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (年度)
	本事業は、ASEAN地域での文化交流・人的ネットワークを一層発展させ、長期的な視野でこれら地域での日本文化の存在感を高め、日本文化の継続的な発信強化を促進することを目的としている。当該目的は本事業を含めた具体的な協力の積み重ねを通じて達成されるものであり、成果がすぐに現れないことから、定量的な指標を設定することは困難である。ただし、参考指標として、講義の受講者数やアンケート結果等により、短期的な成果を推測することはできる。		成果実績	人			
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込
	専門人材の派遣者数		活動実績 (当初見込み)				
単位当たりコスト	4(百万円/人)		算出根拠	委託費49百万円/派遣者数12人			
平成25・26年度予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由			
	諸謝金	-	0.07 百万円	「新しい日本のための優先枠課題推進枠」50百万円			
	職員旅費	-	1 百万円				
	委員等旅費	-	0.02 百万円				
	庁費	-	0.001 百万円				
	文化芸術振興委託費	-	49 百万円				
	計	-	50 百万円				
				※表示単位未満四捨五入の関係で、積み上げと合計は一致しない。			

事業所管部局による点検						
項目			評価	評価に関する説明		
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。		○	ポップカルチャー分野のASEAN諸国への専門家派遣については、ASEAN+3文化芸術大臣会合等を通じて、ASEAN諸国から要請を受けているとともに、政府のクールジャパン推進会議においても、将来の日本文化の需要者を育てるためにも、ASEAN諸国等の学校等を通じた人材育成を行うことが必要とされている。以上の理由から、本事業は、長期的な視野により、国が実施すべき事業であると言える。		
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○			
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。		○			
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		-	委託先の選定に当たっては、十分な期間を確保した上で、公募(企画競争)を実施し、その妥当性や競争性を確保する。 ・契約に当たっては、事業経費の費目・用途の内容について厳正に確認するなど、コスト削減に努めるとともに、経費の執行に関しては、事業終了後に委託事業者から提出される報告書等において、支出先や用途を把握し、適切な支出となっていることを確認する。		
	受益者との負担関係は妥当であるか。		○			
	単位当たりコストの水準は妥当か。		-			
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		-			
	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○			
不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		-				
事業の有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		-	・初年度については、ASEAN諸国のなかでも、他国への波及効果が高いシンガポールの政府系機関や教育機関を重点的に事業を実施することを検討しており、効果的かつ低コストな手段・方法を採用している。 ・また、事業の実施に当たっては、外部有識者等からなる事業検討委員会を開催し、効果的かつ効率的な事業計画を策定する。また、事業終了後には、事業報告検証会を開催し、事業成果の報告及び評価を行うことにより、次年度以降の事業の計画に活用する。		
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		-			
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		-			
重複排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)					
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名			
点検結果	漫画、アニメ、ゲーム、音楽等のポップカルチャー分野は、日本が世界的なレベルで強みを有する分野であり、今後の更なる経済成長が見込まれ、また、当該分野へ日本の協力を求めるASEAN諸国へ日本の専門人材を派遣することは、日本文化の存在感を高めるほか、人的ネットワークを形成していくことにより、日本文化の継続的な発信強化を促進することが期待される。また、初年度は、ASEAN諸国への波及効果が高いシンガポールの政府系機関や教育機関に派遣することを検討していることから、効果的かつ効率的な事業執行に努めているものと言える。					
外部有識者の所見						
外部有識者による点検対象外						
行政事業レビュー推進チームの所見						
本事業は、成果目標及び活動指標も立てられ、事業効果についても適切に検討されており、広く国民のニーズに応える事業であると考えられることなどから、当省の事業として実施することが適切かつ必要と認められる。						
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
備考						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
平成22年	-	平成23年	-	平成24年	-	-

※当該資金の流れは、予算積算上において想定される資金の流れを記入したものであり、実際の資金の流れとは異なる可能性がある。

文化庁
50百万円

職員旅費等 1百万円を含む



【公募・委託】

A. 民間団体等
1機関
49百万円

〔 現代文化分野における専門人材のASEANへの派遣事業を実施 〕

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位:百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」に
 おいてブロックご
 とに最大の金額
 が支出されている
 者について記載
 する。費目と使途
 の双方で実情が
 分かるように記
 載)

A.民間団体			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
専門家派遣費	国際航空券、現地滞在費、謝金等	38			
委員会等開催費	日本における事業検討委員会や事業報告検証会の開催費	2			
人件費	運営責任者、運営担当者	5			
その他	管理費等	4			
計		49	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0